

# 三鷹 FA ジュニアユースについて（報告）

三鷹市少年サッカー連盟

この度、三鷹市少年サッカー連盟は三鷹 FA ジュニアユースの運営から撤退することとなりました。

## 【経緯】

三鷹 FA ジュニアユースを設立した経緯についてですが、設立以前の三鷹市では中学生年代でのサッカー活動の主体は中学校での部活であり、小学生年代でサッカーを行っていた子供たちの卒業後の活動場所となっておりました。しかし、学校によっては部活顧問の転勤等により廃部となる学校もあり、中学生年代での安定した活動場所を確保できないかという理念に基づき三鷹 FA ジュニアユースの設立に至りました。

そのコンセプトは、安定した活動場所の確保、運営母体の組織化、委託事業による運営者・指導者の確保です。当時、三鷹市サッカー協会少年委員会にて1年間の審議を重ね、サッカー協会の優先使用枠で活動場所を優先的に確保し、協会が主催母体となり、運営を他団体に委託することによってチーム運営及び指導者の確保を実現するチームとして、三鷹市に初めとなるジュニアユースチームの設立をいたしました。

それにより設立以降15年間、三鷹市における中学生年代の活動場所として三鷹 FA ジュニアユースは存在することとなりました。しかし、近年、三鷹市及び近隣地域において複数のジュニアユースチームの設立により、中学生年代の活動場所の確保という問題が少しずつ解消される現状となり、活動場所等の優先使用を行い市からのサポートを受けている三鷹 FA ジュニアユースと他のクラブとの明確な差別化が必要となったのです。

それらの現状をふまえ少年連盟としては現在の三鷹 FA ジュニアユースの在り方について再検討を行うこととなりました。結果、優先使用をしている団体（三鷹 FA）として相応しいクラブとなる為の改善を求めることとなったのです。

## 【改善方針】クラブ運営委託団体への改善要求

**クラブ構成員の半数（50%）が三鷹市在住・在学者で構成するクラブとすること。**

これらに関しては、毎年行われる大沢総合グラウンド優先使用決定会議にて三鷹市より条例の厳守を強く言い渡された結果に基づき決定いたしました。（三鷹 FA ジュニアユースの現状は三鷹市在住・在学者が33%であり年々減少の傾向となっていたため改善の要求となりました。）在住・在学者の少ない団体に優先使用はできない。

**結果的に委託団体からの回答は2023年度三鷹 FA ジュニアユースの委託契約を行わないという回答となりました。**

これを受け少年連盟では他団体への契約移行を考えましたが、委託団体が今後独立し三鷹市のチームとして活動していきたいとの意向を受け、三鷹 FA ジュニアユースの主催団体から撤退し、新しいチームとして独立することを認めました。これらの判断はクラブ既存の子供たちへの影響を極力抑えるための判断です。三鷹 FA ジュニアユースは三鷹 CF ジュニアユースとして他のクラブと同様に独立したクラブに生まれ変わります。ご理解をお願いいたします。

## 【今後の中学生年代へのアプローチ】

ジュニアユースクラブの主催事業を終了することとなりましたが、三鷹市において在住・在勤者が80%以上在籍するクラブに関しては少年連盟の優先使用枠等の提供を行い、連盟の連携チームとしてクラブの運営サポートを行うこととなりました。連携チームについては、ホームページで別に案内を致します。詳しくはそちらを参照ください。